

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/10/21現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）	
金融商品の名称・種類	たわらノーロード日経225・証券投資信託
組成会社（運用会社）	アセットマネジメントOne株式会社
販売委託元	アセットマネジメントOne株式会社
金融商品の目的・機能	日経平均株価(日経225)の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
商品組成に携わる事業者が 想定する購入層	この商品は、中長期での資産形成を目的とし、この商品の運用方針に則した収益を求め、元本割れリスクを許容する方を主な購入層として念頭においています。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① 新NISA(成長投資枠)で購入できる商品と比べると、どのようなメリットがありますか。
 - ② 投資経験がなくても、投資に取り組めますか？
 - ③ 確定拠出年金（iDeCo）と比較したメリットは何ですか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）	
損失が生じる リスクの内容	運用資産の市場価格の変動による影響を受けます。投資先などの破綻や債務不履行による影響を受けます。
過去1年間の収益率	35.3% （2024年4月末現在）
過去5年間の収益率	平均12.5% 最低－10.2%（2022年9月）最高56.2%（2021年3月） （2019年5月～2024年4月の各月末における直近1年間の数字）

※ 損失リスクの内容の詳細は、交付目論見書の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「投資リスク」に記載しています。

- （質問）
- ④ 収益率に大きな変動があるのはなぜですか？
 - ⑤ 株価変動リスクは、どのような状況で高くなりますか？

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

（税込）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	ありません。
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	信託報酬率は年0.143%（税込）以内 その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に 料率、上限等を表示することはできません。 ※信託報酬率の詳細は交付目論見書でご確認ください。
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」の項目に記載しています。

- （質問） ⑥ 手数料がかからない商品が、良い商品といえますか？
⑦ なぜ他の商品と比べると、手数料や信託報酬が低く設定されているのですか。

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

償還期限	この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還の場合があります。
解約時手数料	この商品をお客様が換金・解約しようとする場合、解約手数料・信託財産留 保額はかかりません。
解約の制限事項	市場の閉鎖の場合等、換金・解約ができないことがあります。

※ 詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」の項目に記載しています。

- （質問） ⑧ 損益通算とはどのようなことですか。NISA口座にも適用されますか。

5. 当金庫の利益とおお客様の利益が反する可能性

手数料	お客様がこの商品を保有されている間、当社は組成会社（運用会社）を通し て信託報酬の一部（年率0.0825%（税込））をいただきます。 これは、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価です。
-----	---

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取
組方針」をご参照ください。

（URL） <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- （質問） ⑨ この商品を販売することが、担当者の成績にとって重要なことですか。

6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

租税の概要	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 当金庫では、新NISA（つみたて投資枠）専用商品として取り扱っております。
-------	--

※ 詳細は、交付目論見書の「手続・手数料等」の項目に記載しています。

7. 参考情報

インデックスの使用に係る ヘッジ文言	・ 指数の著作権等について 「日経平均株価」は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は、「日経平均株価」自体および「日経平均株価」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。当ファンドは、投資信託委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、株式会社日本経済新聞社は、その運用および当ファンドの取引に関して、一切責任を負いません。
-----------------------	---

8. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前補完書面【目論見書補完書面】
(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>
※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】
(URL②) <http://www.am-one.co.jp/fund/summary/313122/>
※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。
当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた【契約締結前交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

たわらノーロード日経225

	<質問>	<回答例>
①	新NISA（成長投資枠）で購入できる商品と比べると、どのようなメリットがありますか。	基本的に分配金を出さず、ファンド資金を中長期で運用していくため、租税コストも抑えられて、効率的な運用をしている点が評価できます。
②	投資経験がなくても、投資に取り組めますか？	積立て投資などタイミング分散投資により、少額ずつ投資していく方法であれば取り組んでいただけます。
③	確定拠出年金（iDeCo）と比較したメリットは何ですか。	iDeCoは、年金制度の一環ですから、60歳になるまで換金払出ができません。いざという時の流動性の観点では、つみたてNISAの自由度は高いと言えます。
④	収益率に大きな変動があるのはなぜですか？	株式などを投資対象の主体とするためです。このため投資時期の分散が大切です。
⑤	株価変動リスクは、どのような状況で高くなりますか？	一般的には、企業の決算見直し悪化、国内外の金融引き締め強化などがあげられますが、それに加えて短期的には上昇下落のサイクルを繰り返しています。
⑥	手数料がかからない商品が、良い商品といえますか？	手数料は、お客様の運用成果に対する一要素といえます。その意味で、手数料以外の投資対象とその変動幅などにも着目してください。
⑦	なぜ他の商品と比べると、手数料や信託報酬が低く設定されているのですか。	これまで投資経験のなかったお客様も含めて、長期間で少しずつ財産形成をしていこうとする方を支援する目的で商品設計されているためです。
⑧	損益通算とはどのようなことですか。NISA口座にも適用されますか。	例えば「A銀行の特定口座で+40万円 B証券の特定口座で▲100万円」としたとき、これを合算して▲60万円として、A銀行で源泉徴収された4万円の還付を受けるものです。もともと非課税であるNISA口座は、この通算対象にはなりません。
⑨	この商品を販売することが、担当者の成績にとって重要なことですか。	私どもでも、販売件数や販売額よりも、お客様への相談姿勢やアフターフォロー状況が評価されるようになっておりますので、販売ありきという発想はありません。どうぞご安心ください。